

ニンニク

栽培のポイント

① 病気に気をつけましょう

さび病や葉枯病、春腐病にかかりやすいニンニク。5月頃に発症し、場合によっては収穫に至らないケースもあります。3～4月が非常に感染しやすい時期なので、2月下旬～3月に予防しておきましょう。

② とう立ちしたつぼみは早めに摘み取る

4～5月になると、先端からトウ(花の咲く茎)が伸び出します。花は咲きませんが、養分を取られて球が太らないので、つぼみは早めに摘み取りましょう。取ったつぼみはニンニク芽として食べることができます。

③ 様子を見ながら収穫しましょう

ニンニクの球は5月下旬から6月にかけて大きくなり、葉が枯れ始めたら収穫のタイミングです。ただし、6月を迎える前に葉が枯れた場合は病気の可能性があるため、球が太ってなくても収穫しましょう。



品種例
・福地ホワイト
・上海ホワイト など

栽培カレンダー

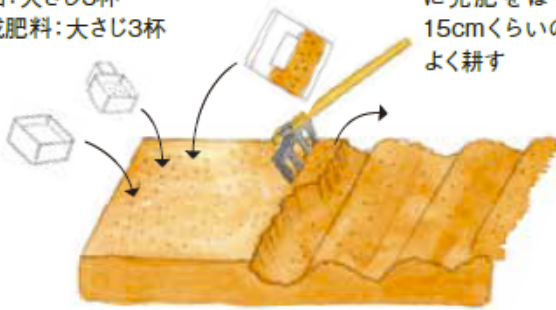


1 畑の準備

(1㎡あたり)

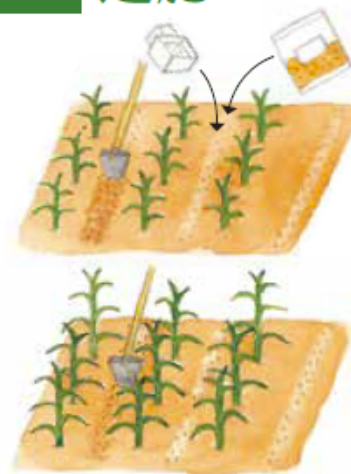
石灰: 大さじ3～5杯
油粕: 大さじ3杯
化成肥料: 大さじ3杯

畑が空きしだい全面に元肥をばらまき、15cmくらいの深さによく耕す



4 追肥

第1回 列の片側に肥料をまいて軽く土と混ぜる
(畝の長さ1mあたり)
化成肥料: 大さじ1杯
油粕: 大さじ3杯



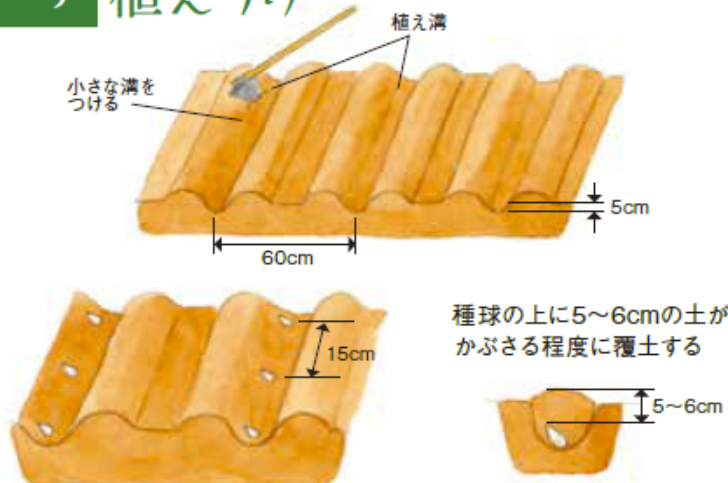
第2回 量は1回目と同じ。畝間に肥料をまいて軽く土をかぶせる
第3回 量、施し方は2回目と同じ

2 種球の準備



外側の薄い皮をむく 分球をていねいにばらす 1球ずつにする

3 植えつけ



5 わき目かき・摘蕾

分球し、芽が2本伸びた株があれば1本を取り除く



残す球の根元を押さえてかき取る

春になり、とう立ちして、葉の先端より長く伸びだしたら早めに摘み取る。摘み取ったつぼみは食べられる

6 収穫

莖葉が2/3くらい枯れてきたころが収穫の目安



抜き取ったらすぐに根を切り離し、そのまま畑で2～3日乾かす。根切りが遅れると硬くて切りにくくなるので注意

乾いたら7～10球ずつ束ねて、風通しの良い軒下などにつるして順次利用する